

「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」 第1回会合【議事要旨】

1 日時 平成21年10月27日（火） 16:00～18:20

2 場所 北海道総合通信局第1会議室

3 出席者

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

赤松 勲（代理：武田 歩）、荒井 功（座長代理）、遠藤 好朗、
川人 正善、小林 稔、近藤 敦志（代理：大槻 昌弘）、
玉置 俊治、出光 英哉、濱田 康行（座長）、舟本 秀男、
堀口 徳久、守山 泰史、山本 孝司、渡辺 修

(2) 北海道総合通信局

大久保北海道総合通信局長、今田情報通信部長、今井電気通信事業課長

4 議事次第

(1) 開会

(2) 総務省北海道総合通信局長挨拶

(3) 構成員紹介

(4) 開催要綱の確認

(5) 座長の選任及び座長代理の指名

(6) 議事

①プレゼンテーション

- ・北海道観光の現状と課題について
- ・北海道のICTインフラ・利活用動向について
- ・デジタルサイネージの動向について

②今後の検討の進め方について

③その他

5 議事概要

【開催要綱について】

- 事務局から資料1-1「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」開催要綱を説明し、確認された。

【座長選任】

- 開催要綱に基づき、濱田構成員が座長に選任された。また、濱田座長より荒井構成員が座長代理に指名された。

【プレゼンテーション】

- 構成員等から資料 1－2 プレゼンテーション資料に基づき、以下のとおり説明。
 - ① 北海道観光の現状と課題（堀口構成員：社団法人北海道観光振興機構）
 - ② 北海道の ICT インフラ・利活用動向について（今田情報通信部長：北海道総合通信局）
 - ③ 2011 年地上デジタル放送の移行完了に向けて（今田情報通信部長：北海道総合通信局）
 - ④ デジタルサイネージの動向（遠藤構成員（同行者の須藤シニア IT スペシャリストから説明）：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

<質疑応答>

質問：「北海道観光の現状と課題」の資料において、観光入込客数は純粋に観光客のみか、それともビジネス客等も含まれているのか。

回答：輸送関係のデータを基にした統計であり、ビジネス客等も一部含まれている。

質問：今回の観光情報等提供モデルに関する実証実験は、時間と予算の制約もあると思うが、実施の時期やサイネージの台数等、規模はどれぐらいか。

回答：実証実験については、今後の進め方の議事においてワーキンググループの設置も含めてご検討いただくこととしているが、時間と予算の制約もあり、サイネージの表示装置は 1 台程度で、札幌市内において雪祭りの頃に 1 週間から 2 週間程度の期間での実施を想定している。（事務局回答）

【今後の検討の進め方について】

- 事務局より資料 1－3「今後の検討の進め方（案）」及び資料 1－3 別紙 1「ワーキンググループの設置（案）」を説明し、了承された。濱田座長より遠藤構成員がワーキンググループの主査に指名された。
- ワーキンググループへの構成員の参加や構成員の関係者の推薦の扱いと第 1 回ワーキンググループの開催日程が示された。
- 以下の構成員からデジタルサイネージに関連する取組事例の紹介がされた。
 - ① 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道支社の近藤構成員（代理：大槻 昌弘）からデジタルサイネージと携帯電話の有効活用の説明と取組事例の紹介
 - ② 北海道放送株式会社の渡辺構成員からワンセグでの独立放送としてラジオ番組放映の実験紹介
 - ③ 社団法人北海道映像関連事業社協会の山本構成員からデジタルサイネージの電子ポスターとしての映像効果の紹介

【その他】

- 事務局より次回以降の会合日程を提案し、了承された。
 - 第 2 回会合 平成 21 年 12 月 8 日（火） 16：00～
 - 第 3 回会合 平成 22 年 3 月 9 日（火） 16：00～

以上